

2013年3月30日

2012年度 清教学園幼稚園〈学校関係者評価〉報告

清教学園幼稚園 学校関係者評価委員会

これは、清教学園幼稚園から提出された「2012年度清教学園幼稚園自己評価報告書」に基づいて、当委員会（学園外部評議員および学校アドバイザーによって構成される）が、幼稚園運営の改善を図るために実施した「学校関係者評価」を報告するものである。

☆評価内容に関して

- 保護者よりキリスト教主義の幼稚園であるとより認識されるためには、園児達へのキリスト教保育と教職員を対象としたキリスト教およびキリスト教保育の研修が重要である。継続されている日々の終礼で礼拝を守ることに加えて、外部研修などに積極的に参加することを望む。
- 様々な行事の中に礼拝を取り入れ、保護者にキリスト教主義への理解をしてもらう努力をしていることは評価できるが、建学の精神をまずは教職員が再確認した上で、保護者に伝えることが出来るよう努力して貰いたい。
- 保護者アンケートによる園に対する評価は総合的に昨年と変わらないが、園に対する信頼度が高い事は教職員の努力が結実したと言える。
- 詳細な内容の保護者アンケート実施は大きな意味を持つが、単年度の分析だけではなく、経年比較・分析により保護者のニーズを的確に捉えて施策をまとめ、行動計画に繋げて欲しい。
- 保護者からの評価アップが教職員の達成感に繋がり、募集活動にもプラスの影響を及ぼすので、今年度の教職員の働きが募集に関しても大きな役割を果たしたと言える。
- 食育に関しては、宿泊保育等で実際に園で育てた野菜を食す事により、園児や保護者の関心が高まり給食の中の嫌いな食べ物についても、少しでも挑戦しようとする兆しが見える事は良い傾向である。
- 今年度、英語専科の教師の指導の下、正課での英語指導を毎日継続してきたことが高い評価に繋がっている。
- 色々な行事に関して、昨年度のアンケートを受け園としては新たな工夫を施した結果、良い評価も得られたが、反面、改善の余地のある行事もあったようなので次年度の改良に期待する。

以 上